

問題は回収します

2010 年度

立命館大学大学院応用人間科学研究科入学試験問題

(2009 年 9 月 12 日実施)

「臨床心理学領域」・専門基礎

(問題用紙 7 枚、解答用紙 3 枚)

<全入試方式共通>

<1 時限目 90 分>

問 A もしくは問 B を必ず含んで 2 問選び解答すること。(問 A と問 B の二つを選択してもよい) 3 問以上解答した場合はそのすべてを採点の対象としない。

受験番号	氏名

問 A

複雑多様化する社会において、さまざまな心の問題が深刻化しており、これについては予防教育が有効であると考えられる。あなたが関心をもっているフィールド（学校、施設、病院など）において、あなたが心の専門家として支援をするとしたら、どのような病理に焦点をあてて予防教育を行うのか、その必要性と具体的なアプローチの方法を論じなさい。

（800字以内）

問 B

絵を描くことが心理検査にも心理療法の技法にもなり得る理由について述べなさい。

（800字以内）

問 1

下記の 2 つの図は、いずれも心理学での調査や実験の結果を示したものである。図の説明を読んで、各問に答えなさい。

(合計 800 字以内)

(1) 図 A に示されている結果を簡潔に説明した上で、その結果から考えられることを考察しなさい。

出典：鈴木忠（2008）『生涯発達のダイナ
ミックス 知の多様性 生きかたの可能性』
東京大学出版会

(2) 図 B に示されている結果を簡潔に説明した上で、その結果から考えられることを考察しなさい。

出典：Salthouse, T. A. (1984) Effects of age and skill in typing.
Journal of Experimental Psychology: General, 113, 343-371.

問 2

統計的仮説検定について、以下の問いに答えなさい。

(1) 以下の A～E 空欄に当てはまる語句を答えなさい。

一般的に、統計的仮説検定の手順は、1) (A) 仮説と (B) 仮説の設定、2) (C) 量を選ぶ、3) (D) 水準を定める、4) 標本からの (B) の実現値を計算する、5) (A) 仮説を (E) するかどうか判断する、の5つである。

(2) 検定を行う際に留意しなければならない以下の事項について説明しなさい。

2-1) 「第1種の誤り(第1種の過誤)」と「第2種の誤り(第2種の過誤)」とは何か。日常的な具体例を挙げて説明しなさい。

2-2) 検定力とは何か。

2-3) 効果量とは何か。

問3

下記の文を読み、設問に答えなさい。

出典：フーゴ・デ・ガリス「マスキュリズム（男性解放論）宣言」（伊藤・牟田編）『ジェンダーで学ぶ社会学』世界思想社

- (1) 著者の論旨に添う形で、日本にはマスキュリズムが絶対に必要だということについて論じなさい。
(400字以内)
- (2) (1) で構成した論に対し、賛否を明確にした上で、あなた自身の考えをまとめなさい。
(400字以内)

問4

ソーシャルワークにおける支援の代表的モデルである、「医学モデル」と「生活モデル」を比較し、その違いと特徴について、具体例を用いて説明しなさい。

(800字以内)

問5

以下の文章を読み、全体の論点を要約したうえで、各自の考えを自由に述べなさい。

(800字以内)

出典： 矢野智司『贈与と交換の教育学』東京大学出版会

問6

以下の文章を読み、賛否を明確にしたうえで各自の見解を述べなさい。

(800字以内)

教授することをためらってはならない。教授すべき知識はきちんと教授しなければならない。いたずらに子どもの自発性を阻害することを恐れて、ためらってはならない。教授するしないにかかわらず、阻害するときは阻害するのである。しかもこの教授において特に大事なことは教育者自身が模範となることである。教育者自身が、自ら真摯な知的格闘の姿を、知ることの苦しみと喜びがあるがままにさらけ出すことである。それこそが単なる知識の教授にとどまらない真に有効な教授であり、それにより子どもは「知るとはどういうことか」を本当に知ることになるであろう。

それにしても、現代の高度に発達したテクノサイエンス社会を生き抜いて行くためには、複雑で高度な知的水準が求められている。教科書の簡素化など、むしろそれに逆行するものである。もちろん、ついて行けない子どもたちに対する手厚い教育的配慮は不可欠である。しかしまさにそうした子どもたちに対してこそ、きちんとした教授が必要なのである。学校教育は表向きは彼らを尊重しているようだが、実際は大したことをやっているわけではない。知識の量が多すぎるといって、教科書を簡素化したところで、それで出来ない子どもが出来るようになるものではない。出来ない子どもはもともと知るべき知識が多すぎて出来ないのではなく、「知る力」それ自体が引き出され、育まれていないから出来ないのである。それゆえただいたずらに知識の量を減らすことにこだわるよりも、むしろさまざまな知識を数多く、時間をかけてじっくりと、繰り返し繰り返し教授することによって、「知る力」それ自体の内的運動を身につけさせるべきである。知識量を減らしたからといって、それで「知る力」が引き出され、育まれるわけではないからである。

問7

以下の文章は、対人援助の実践・研究に対する応用行動分析の立場を示した文章である。これを読んで設問に答えなさい。

出典：望月昭「デニーズへようこそ、お客様の平均年収は？」『発達の遅れと教育』380, 16-19, 1989

- (1) 「サービスの科学」とは相容れないような「知る科学」の研究とは具体的にどのような事か述べなさい。
(400字以内)
- (2) 被観察者（被援助者）への対処の中で、観察者（援助者）である我々自身の行動を科学的にモニターするとは具体的にはどのようなことを行えばよいか述べなさい。
(400字以内)

問8

「不登校」や「社会的ひきこもり」の子どもや若者たちへの支援において、「親の会」や当事者のための「居場所」の必要性が認められている。なぜそれが必要なのかその理由について述べなさい。

(800字以内)

問題は回収します

2010 年度
立命館大学大学院応用人間科学研究科入学試験問題
(2009 年 9 月 12 日実施)

「対人援助学領域」・専門基礎

(問題用紙 6 枚、解答用紙 3 枚)

<一般入学試験>

<1 時限目 90 分>

問 1～問 8 の中から 2 問選び解答すること。3 問以上解答した場合はそのすべてを採点の対象としない。

受 験 番 号	氏 名

問 1

下記の 2 つの図は、いずれも心理学での調査や実験の結果を示したものである。図の説明を読んで、各問に答えなさい。

(合計 800 字以内)

(1) 図 A に示されている結果を簡潔に説明した上で、その結果から考えられることを考察しなさい。

出典：鈴木忠（2008）『生涯発達ダイナミックス 知の多様性 生きかたの可能性』
東京大学出版会

(2) 図 B に示されている結果を簡潔に説明した上で、その結果から考えられることを考察しなさい。

出典：Salthouse, T. A. (1984) Effects of age and skill in typing.
Journal of Experimental Psychology: General, 113, 343-371.

問2

統計的仮説検定について、以下の問いに答えなさい。

(1) 以下のA～E空欄に当てはまる語句を答えなさい。

一般的に、統計的仮説検定の手順は、1) (A) 仮説と (B) 仮説の設定、2) (C) 量を選ぶ、3) (D) 水準を定める、4) 標本からの (B) の実現値を計算する、5) (A) 仮説を (E) するかどうか判断する、の5つである。

(2) 検定を行う際に留意しなければならない以下の事項について説明しなさい。

2-1) 「第1種の誤り(第1種の過誤)」と「第2種の誤り(第2種の過誤)」とは何か。日常的な具体例を挙げて説明しなさい。

2-2) 検定力とは何か。

2-3) 効果量とは何か。

問3

下記の文を読み、設問に答えなさい。

出典：フーゴ・デ・ガリス「マスキュリズム（男性解放論）宣言」（伊藤・牟田編）『ジェンダーで学ぶ社会学』世界思想社

- (1) 著者の論旨に添う形で、日本にはマスキュリズムが絶対に必要だということについて論じなさい。
(400字以内)
- (2) (1)で構成した論に対し、賛否を明確にした上で、あなた自身の考えをまとめなさい。
(400字以内)

問4

ソーシャルワークにおける支援の代表的モデルである、「医学モデル」と「生活モデル」を比較し、その違いと特徴について、具体例を用いて説明しなさい。

(800字以内)

問5

以下の文章を読み、全体の論点を要約したうえで、各自の考えを自由に述べなさい。

(800字以内)

出典： 矢野智司『贈与と交換の教育学』東京大学出版会

問6

以下の文章を読み、賛否を明確にしたうえで各自の見解を述べなさい。

(800字以内)

教授することをためらってはならない。教授すべき知識はきちんと教授しなければならない。いたずらに子どもの自発性を阻害することを恐れて、ためらってはならない。教授するしないにかかわらず、阻害するときは阻害するのである。しかもこの教授において特に大事なことは教育者自身が模範となることである。教育者自身が、自ら真摯な知的格闘の姿を、知ることの苦しみと喜びがあるがままにさらけ出すことである。それこそが単なる知識の教授にとどまらない真に有効な教授であり、それにより子どもは「知るとはどういうことか」を本当に知ることになるであろう。

それにしても、現代の高度に発達したテクノサイエンス社会を生き抜いて行くためには、複雑で高度な知的水準が求められている。教科書の簡素化など、むしろそれに逆行するものである。もちろん、ついていけない子どもたちに対する手厚い教育的配慮は不可欠である。しかしまさにそうした子どもたちに対してこそ、きちんとした教授が必要なのである。学校教育は表向きは彼らを尊重しているようだが、実際は大したことをやっているわけではない。知識の量が多すぎるといって、教科書を簡素化したところで、それで出来ない子どもが出来るようになるものではない。出来ない子どもはもともと知るべき知識が多すぎて出来ないのではなく、「知る力」それ自体が引き出され、育まれていないから出来ないのである。それゆえただいたずらに知識の量を減らすことにこだわるよりも、むしろさまざまな知識を数多く、時間をかけてじっくりと、繰り返し繰り返し教授することによって、「知る力」それ自体の内的運動を身につけさせるべきである。知識量を減らしたからといって、それで「知る力」が引き出され、育まれるわけではないからである。

問7

以下の文章は、対人援助の実践・研究に対する応用行動分析の立場を示した文章である。これを読んで設問に答えなさい。

出典：望月昭「デニーズへようこそ、お客様の平均年収は？」『発達の遅れと教育』380, 16-19, 1989

- (1) 「サービスの科学」とは相容れないような「知る科学」の研究とは具体的にどのような事か述べなさい。
(400字以内)
- (2) 被観察者（被援助者）への対処の中で、観察者（援助者）である我々自身の行動を科学的にモニターするとは具体的にはどのようなことを行えばよいか述べなさい。
(400字以内)

問8

「不登校」や「社会的ひきこもり」の子どもや若者たちへの支援において、「親の会」や当事者のための「居場所」の必要性が認められている。なぜそれが必要なのかその理由について述べなさい。
(800字以内)

問題は回収します

2010 年度

立命館大学大学院応用人間科学研究科入学試験問題

(2009 年 9 月 12 日実施)

「臨床心理学領域」・小論文

(問題用紙 3 枚、解答用紙 1 枚)

<社会人一般入学試験>

<2時限目 60分>

受 験 番 号	氏 名

問 題

対人援助の研究においては、文献等の資料の中から、書かれている事実を把握し、それを読み手に分かりやすく示すことが必要とされる。以下の文章は、世界で初めて人工雪を作った話である。これを読んで次の問いに答えなさい。

- (1) ここに書かれている人工雪を作るのに必要な装置、材料を列挙すること。
- (2) 水の温度の高低によって、雪の結晶の形の異なったものができるが、その水の温度と結晶の形について図示すること。

(樋口敬二編 一九八八 中谷宇吉郎隨筆集 岩波文庫)

問題は回収します

2010 年度

立命館大学大学院応用人間科学研究科入学試験問題

(2009 年 9 月 12 日実施)

「対人援助学領域」・小論文

(問題用紙 1 枚、解答用紙 1 枚)

<社会人自己推薦入学試験>

<1 時限目 90 分>

受 験 番 号	氏 名

問 題

脳死を死として認定することの是非に関して、賛成論と反対論をそれぞれ500字以内で展開しなさい。

(1) 賛成論

(2) 反対論